

市報

やまぐち

昭和57年

9月1日

No. 843

人の動き (8月1日現在)

人口 115,906 (+ 33)

男 55,705 (+ 29)

女 60,201 (+ 4)

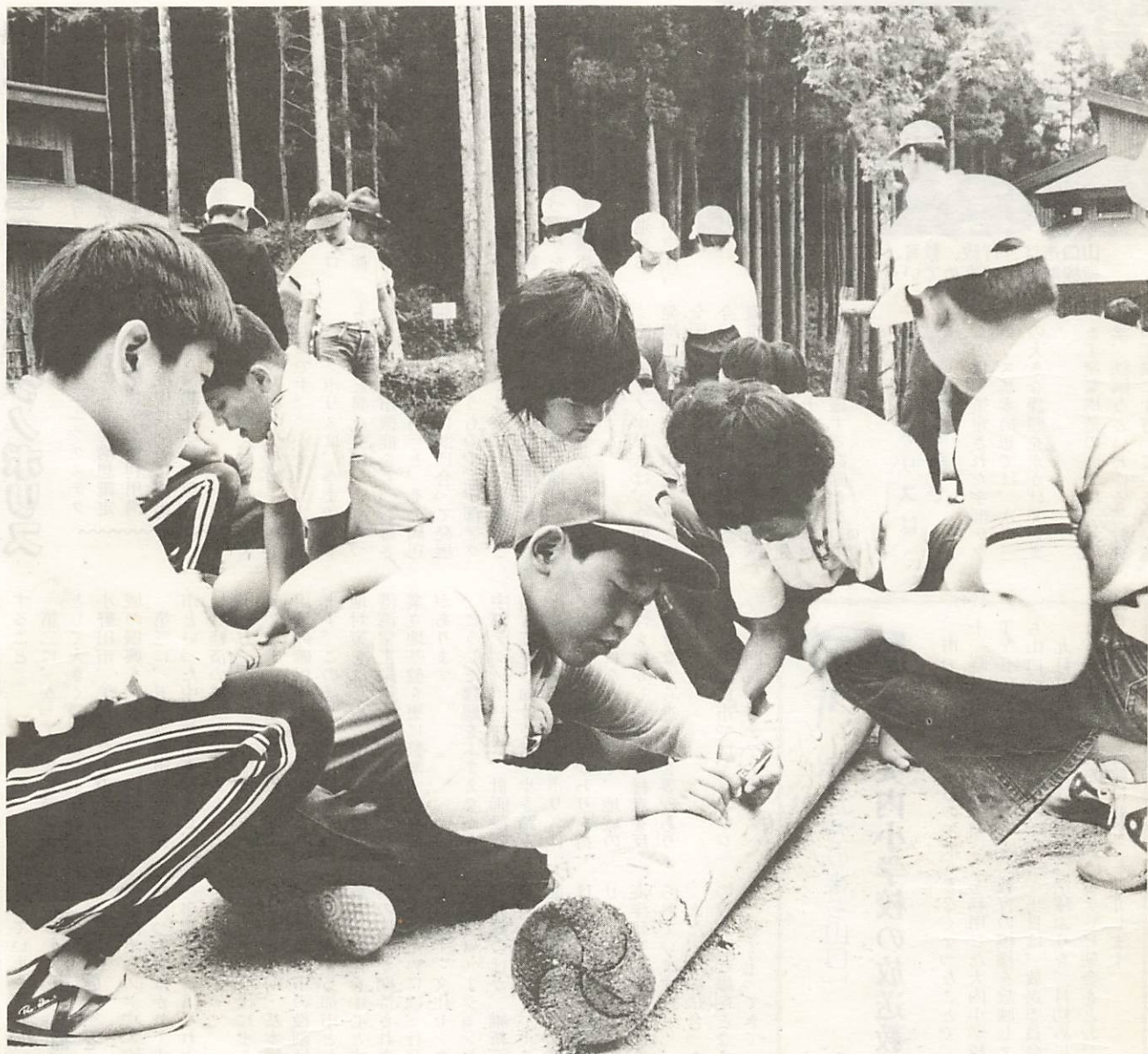
世帯数 40,050 (- 9)

() 内は前月との比較

発行 山口市役所

編集 企画部広報課

印刷 森重印刷所



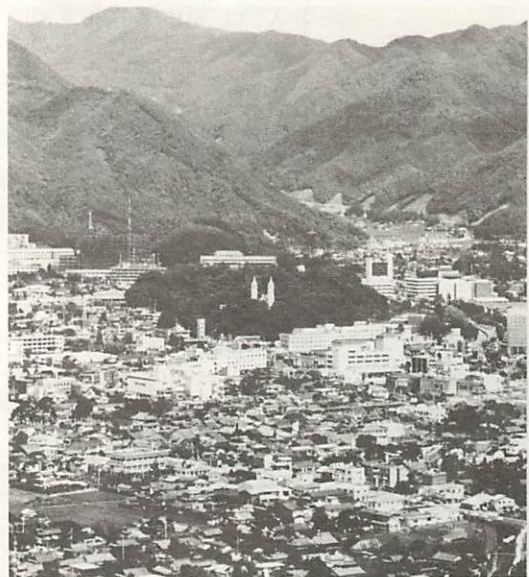
大殿小学校では、6年生と父兄を対象に、「21世紀の森」旭村・夏木原キャンプ場で、8月21日・22日の1泊2日
にわたって“ふれあいキャンプ”を行いました。

このキャンプは、青少年健全育成のPTA活動の一つで、6年生166人を含む300人余りが参加しました。キャンプ場では、父兄と一緒に食事やキャブファイヤー・トーテムポール作りなどを楽しみました。

トーテムポール作りは下絵までで、あとは卒業記念として学校で完成させる予定です。高原のキャンプ場は、もう秋の気配。夏の日々の楽しい思い出は、トーテムポールとともに、子どもたちの心にいつまでも残りました。

トーテムポールで
思い出づくり

大殿小学校ふれあいキャンプ



山口市は、行政、教育、文化など県の中核機能を更に高めていくことになり

夢の懸け橋 21世紀のまちづくり テクノポリス構想

宇部フエニックステクノポリス

新しいまちづくりを目指した、宇部フエニックステクノポリス建設構想が、このたび通産省の「開発構想策定地域」に選定されました。今後、事業構想や土地利用構想などをもちこんだ、開発構想を本年度中に同省に提出することになっており、テクノポリス構想は建設実現に向けて大きく前進することになります。

4市4町でまちづくり

テクノポリスとは、テクノロジ（科学技術）とポリス（都市）の二つの用語を結びつけてきた言葉で、先端技術産業やその関連産業と、研究所や大学などの学術研究機関、それに居住施設を適切に配置し、いわゆる産・学・住の機能をうまく組み合わせ、新しいまちづくりをしようという「高度技術集積都市」づくりのことです。

この場を確保し、人口や産業の大都市圏への集中化を防ごうとするものです。

テクノポリスは、今までのまちづくりと異なる新しいまちづくりで、都市機能をもつお母さん役の「母都市」と、その周辺都市とが互いに助け合って発展しようというもので、宇部テクノポリスでは宇部市を母都市とし、山口市、小野田市、美祿市、小郡町、阿知須町、楠町、山陽町の四市四町をテクノポリス圏にしています。

宇部テクノポリスは、今回開発構想策定地域に指定された、全国十九地域のうちのひとつで、今後は、今年度中に開発構想の策定、五十八年度に事業実施基本方針、五十九年度に地域指定をうけ、六十一年度から本格的に事業を実施する計画となっています。

テクノポリスは地域主導型で

このほど策定された宇部テクノポリス基本構想では、次の三つの大きな課題をかかれています。

まず産業構造の面では、石油、化学、鉄鋼などいわゆる基幹資源型工業に片寄っている産業構

造を、雇用の大きい産業に改善すること

第二に、かつて石炭鉱業都市として大きく発展した宇部市、小野田市、美祿市などの産炭地域の振興を図ること

第三に、五十万都市や百万都市といった中核都市を育成し、地域経済の発展を促すこと

一方、建設に向けては、まずテクノポリス建設のための開発用地の確保が大きな課題になります。このほか、都市計画や土地対策をはじめ、道路、空港、港湾、工業用水道、上水道等産業立地基盤を更に整備する必要があります。

こうした課題をふまえながら宇部テクノポリスは、計画段階から実現へ向けて第一歩を踏み出しましたが、テクノポリスはまちづくりと深いかわりを持つことになり、地域の特性を生かし、住民の意見を反映させながら進める必要があります。

そこで山口市では、リーフレットを回覧してテクノポリスへ

の建設計画の理解を深めることにしています。

母都市を補完し三次産業を振興

宇部テクノポリス建設計画は緒についたばかりですので、その事業内容等はこれから策定されるものです。

従って、今後にはまたなければなりません。基本構想の段階では、山口市の役割は母都市宇部を補完する都市として行政、教育、文化を中心とする三次産業の振興が期待されます。

そのためには、行政サービスセンター、文化センター、観光インフォメーションセンター等の設置のほか、維新百年記念事業のカルチャーパーク計画が当面の地域スポーツの拠点となるほか、山口湾、秋徳湾付近にはリゾートレクリエーション施設、海洋研究施設の配置などが考えられています。

また、地域に合った二次産業の導入の起爆剤となることも構想として上ってきています。



「私たちのまち山口」 大内小学校の放送教育

市では、毎週日曜日の午前十一時五十分から五十分、TYSテレビで「私たちのまち山口」を放映しています。

当日は、放送委員会などの活躍ぶりを、月初めに行われるテレビ朝会をおして、ご紹介いたします。

9月14日・市民会館 市老人福祉大会 展示即売会もあります

「敬老の日」にあたり、広く老人福祉についての関心と理解を深め、お年寄り自らの生活の向上に努めてもらおうと、第十六回山口市老人福祉大会が次のとおり開かれます。

お年寄りのみなさん、誘い合ってご参加ください。
○日時 九月十四日午前十時三十分から正午まで、（午前八時三十分から受付）
○場所 市民会館大ホール
大会は、小学生による敬老のことは、体験発表などを行い、正午には終了です。

引き続き午後〇時三十分から老人クラブ会員による楽しい演芸大会が午後二時三十分まで行われます。

午前九時から午後二時三十分まで、市民会館ロビーで、老人クラブ会員製作の作品展示即売会も開かれます。

9月9日
救急の日

救急車の利用は適正に

自分の健康は自分で守ろう

最近交通事故を初めとして、いろいろな災害が多発しています。

そこで、救急医療と救急業務の正しい理解と認識を深めるために、九月九日を「救急の日」とし、この日を含めて九月五日から十一日までの一週間を「救急医療週間」と定められました。

この機会に、お互いに日ごろから自分の健康は自分で、家族の健康は家族で守り、また、いざという時のために、家庭でできる正しい応急手当の知識を身につけておくことが必要です。

診療時間内の受診に努めよう

自分の健康に留意し、救急車の利用を最少限にするには、平素から次のことに気をつけることも必要です。

○ホームドクター（かかりつけの医師）をもっておく。
○いざという時のため、新聞、広報紙などで休日当番医を確かめておく。

○急病以外は、診療時間内に受診するよう心がける。
○休日や夜間の急病は、落ち着いてホームドクターや当番医に相談する。

救急車の安易な利用はさげよう

今年の救急車の出動状況を見ると、八月十五日現在千四百三十五件で、その内訳は急病六百八十六件、交通事故三百五十五件、一般負傷百八十五件、労働災害等二百五十九件で、相変わらず急病による出動が一番多く、全体の



救急出動の要請を受け、迅速に傷病者の搬送に当る救急隊員

の半数近くを占めています。また、急病の内訳も腹痛、発熱等で入院の必要のない、いわゆる軽症のものが三百八人、四五%も見受けられます。

救急車は交通事故等で、生命にかかわる傷病者を、一刻も早く病院へ搬送することを使命としていますので、軽症患者のための出動件数が、全体の約四分の一を占めているということは、交通事故等による傷病者の搬送に、支障をきたす恐れがあります。こうした軽症患者は、自家用車やタクシー等を利用するなどして、救急車の適正な利用に心がける必要があります。

救急車の利用心得

- 一刻を争う緊急時が発生した時は一一九番をダイヤルし、次のことを簡潔明瞭に知らせるようにならねばなりません。
- 救急車が必要であること、事故現場の所在、目標
- どのような事故か
- 傷病者の数、性別、年齢
- 傷病者はどのような容態、状況か
- 参加料 無料。ただし、昼食代として五百円を参加当日いただきます。
- 申し込み 九月十一日（土）までにハガキに住所、氏名、年齢、電話番号、職業、参加希望日（九月二十八日か二十九日のどちらか）を記入して市広報課「動くふさと教室」係（亀山町二一）☎二一四一（一一）へ

募集



動くふさと教室

日ごろ、市民として訪れる機会のない市の施設を見て、市政への理解を深めてもらうため、「動くふさと教室」を実施し、その参加者を次のとおり募集します。

- 日時 九月二十八日（火）、二十九日（水）の二回
- 訪問施設 市役所前（午前九時集合、終末処理場、環境センター、潮寿荘（昼食）、南部運動広場、浄明苑、清掃工場、歴史民俗資料館、市役所前（午後四時解散）
- 参加資格 二十歳以上の市民
- 募集人員 両日とも、それぞれ五十人

おしやましーす

下水道部

下水道部は庁舎の三階南側にあり、管理係、工務係、計画係、都市下水道係、業務係、施設係の六係で仕事を分担しています。

職員は部長以下三十一名で、仕事の内容は、下水道の建設と維持管理の業務を行っています。建設事業については、公共下水道事業、都市下水道事業などの排水施設の建設を行っており、特に公共下水道は、汚濁を防止するとともに快適に住みよい町づくりをめざして、昭和四十八年度から事業に着手し、昨年の十二月十六日に湯田地区の一部を中心とする約百ヘクタールが処理開始の運びになりました。この間、山口市浄水センター、湯田中継ポンプ場を建設し、汚水管きよを布設し、雨水溝の新設または改良を実施してきました。

今後は処理区域の拡大をめざし、年次計画に基づいて事業を推進していくこととなります。

都市下水道は、公共下水道の認可区域周辺で、浸水被害の著しい地区を解消するため継続して実施しており、五十七年度は朝倉、平川、矢原、問田の四地区で工事を施工しています。その他に単独都市下水道も実施しています。



家庭の排水工事が完成し、パイプの接続検査やレベル検査を行う下水道職員

水洗化の普及促進に努めています。また、浄水センターでは各家庭から送られてくる汚水（便所、風呂、台所等から出る生活排水）を法律で定められている基準以下のきれいな水にして、野川に放流する仕事をしています。こうした仕事のほか公共下水道の建設、維持管理には多額の費用を必要とするため、下水道受益者負担金や下水道使用料を徴収しています。

維持管理は、公共下水道に接続するための工事の指定店を指定し、各家庭から申請される排水設備工事の審査、検査を行います。

ガン征圧月間
(9月)中のガン検診

○山口赤十字病院 (☎23-0111) 胃ガン(4,000円)、皮ふガン(3,800円)
○済生会山口総合病院 (☎22-2430) 子宮ガン(3,400円)、乳ガン(1,450円)

〔申し込みは事前に電話で〕
() 内は検診料金

健康で快適な生活を送るために



ワイ、ナマスが捕れたぞ、川遊びは子供たちにとって楽しい思い出の一コマ。きれいな川を残すことは大人の責任です

近年の経済活動の広域化と急速な都市化の進展で、緑豊かな自然と多くの歴史的遺産に恵まれた環境が、損われつつあります。環境は、これを良くするのも、また悪くするのも、その大部分が各人のモラルにかかわるといわれており、他人に迷惑をかけまいとする思いやりの心を養うことが肝要です。これからも、私たちが健康で快適な生活を送るために、モラルの向上と、きれいな空気や水などの自然環境を守り、育てていく努力が必要です。

三者一体で環境づくり

市民が良好な環境の下で、健康で文化的な生活を営むため、六月市議会定例会で「山口市環境保全条例」を制定しました。その中で環境の保全について市、事業者および市民が、それぞれ守らなければならない責務を明らかにし、三者が一体となって住みよい郷土づくりを進めようというものです。

〈市の責務〉

○あらゆる施策を通じて、良好な環境の確保に努める。

○知識の普及と思想の高揚に努める。

○財政上の措置、技術的な援助を行う。

○苦情があったときは、その実情を調べ、適切な処理に努める。

〈事業者の責務〉

○良好な環境を侵害しないように、自らの責任と負担で必要な措置を講じ、事業施設を適正に管理し、市の環境保全に協力する。

○公害その他良好な環境の侵害による紛争が生じたときは、誠意をもって解決に当たる。

○環境保全の意識を高め、互いに協力して地域の良好な環境の確保に努め、市の環境保全施策に協力する。

〈市民の責務〉

○環境保全の意識を高め、互いに協力して地域の良好な環境の確保に努め、市の環境保全施策に協力する。

自分には快音 他人には騒音

良好な環境を保ち、住みよい環境づくりを進める約束事は揃ったものの、これを守り実行するのは、お互い一人ひとりの心掛けが大切です。

特に、最近住宅が密集し、また、アパートやマンションなど、隣り合わせで暮らす生活形態が広がっています。

市に寄せられた生活公害の苦情

計	畜産	生活排水	生活雑排水	生糞	法投	不投	尿槽	浄化槽	汚濁	質汚	水汚	気汚	大汚	臭	悪音	騒音
19	7	2	1	3	3	3	5	1	1	1	1	2	1	2	2	54
17	4	2	1	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	55
25	6	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	5	56
8	2	1	4	1	1	1	4	1	1	1	1	1	1	1	1	57

(注) 57年度は7月末まで

態が増えるにつれ、近隣騒音の苦情が目立ちます。「隣の家のステレオの音が大きすぎて、ノイローゼになりそう」



ひと粒の麦

聖書に「ひと粒の麦、地に落ちて死せざればただひと粒にてあり、もし地に落ちて死すれば多くの実を結ぶ」という聖句があります。実に意味深い言葉だと思えます。人は

誰でも他人には無い賜物があります。やさしさ、力強さ、微笑み、何かあります。地に落ちて死ぬとは、自我を捨てて与えられた賜物を、隣人の為に役立てると言う事ではないでしょうか。一見何もできない病人なのに心温かい零細気を持つている人がいます。病苦を秘めて明るく微笑む姿は、訪ねる人に大きな感動を与えます。何もできないのではなく、しようとしないうことです。ひと粒で終らずに多くの実を結びましょう。

名所

奇岩と溪谷美 稔畑道

憩所などが整備されています。正面の山を見上げると、樹林の中に巨大な奇岩が、断崖絶壁となつてそびえ立っています。岩の色は黒かっ色で、岩の割れ目には樹木がしっかりと根を張り、奇岩と樹林が美しい奇観を見せています。

国道二六二号線から県道奈美山口線に入り、鳴滝川に架かる月光橋を渡って二百餘り進むと、左手前方に鳴滝川の滝(普通この滝を鳴滝と呼ぶ)が見え初めます。この周辺一帯は鳴滝公園として、トイレやくず入れ、休

さらにこの県道を、仙境稔畑に向かつて二百餘り進むと、二の滝の溪流が左手下に現われてきます。ザアザアと音をたてて流れ落ちる滝つぼに降り、涼を誘う溪流に耳を傾けながら、去り行く夏を惜しむかのように鳴くセミしぐれを聴いていると、山の風趣を存分に味わうことができま



砕け散るしぶきに涼を求め、奇岩と溪谷美の深勝に、初秋のひとつときを過ごすのも、また楽しいものです。

■台風による電気災害防止

台風が来る前には、危険と思われるところを早目に補強しておきましょう。台風が去った後、電線にアンテナや樹木が当たったときは、そのままにして中国電力(電22-4321)へ連絡してください。

(5)

地域福祉振興アドバイザー

市が行う福祉施策に加え、ボランティア活動など、自主的な参加による地域ぐるみの福祉活動を推進するねらいで、このたび「地域福祉振興アドバイザー」が次のかたがたに決まりました。(敬称略)

今後、このアドバイザーは地域福祉の振興に関し市長に進言します。

- 平井彰子(水の上町5-1 県ボランティア振興財団アドバイザー)
- 山本八重子(道祖町2-19 市民生児童委員協議会婦人部会長)
- 佐々木花子(陶4474 陶隣保館生活指導員、市婦人問題懇話会福祉部会長)



九月は心身障害者雇用促進月間

○ 公共職業安定所の紹介で心身障害者を雇用した場合、賃金などの助成金制度が受けられます。詳しくは、山口公共職業安定所(神田町1-75 電話22-0043)へご相談ください。

また、新たな雇用1人につき300万円(1社1,200万円)までの運転融資制度もあります。これは防府労政事務所(〒747 防府市駅南13-40 電話0835-22-1044)へご相談ください。

○ 心身障害者のかたがたで働く希望がある人は、公共職業安定所へ「求職のご相談」をおすすめします。

第19回精神薄弱者愛護月間

手をつなぎ肩をくみ みんなパートナー

昨年国際障害者年の長期行動計画第1年目にあたり、「完全参加と平等」の現実を目指して、9月30日まで、精神薄弱者愛護月間が進められます。今年、「手をつなぎ肩をくみ、みんなパートナー」のスローガンで運動が展開されました。

また、9月9日は「この日一日をこの子のために」(愛護デー)でもあります。みんなでも福祉活動を推進しましょう。



自動車の騒音公害がエスカレートします(写真は、騒音測定)

だ「暴走する自動車の音がうるさい」など、自分が原因で発生させる音や、朝早くから隣りの犬が吠えている音がうるさい、早く目がさめるなど、飼っているペットが他人に迷惑をかけることに、気付かないことが多いものです。

市の公害交通課に寄せられた騒音に関する苦情の中から、いくつか拾ってみますと、

「毎日音楽の生演奏をするのでやかましい」

住宅密集地の普通の民家で、五、六人がドラムやギターなどの楽器を使って、調子を合わせのために高い音を出してジャズ演奏の練習をし、近隣に迷惑をかけていたが、申し入れ後中止された。

「雀おどし(爆音機)の音が大きい。三交替の勤務であり、また赤ん坊もいる。寝ようと思ふところになるので寝つかれないし、子供もむづかるので抱いていなければならぬ」

影響が大きい 一時的な悪臭

爆発の間隔は約六、七分。発生源に対して、苦情内容を説明したところ、あと半月ばかり雀おどしのために使用したいが、付近の人の迷惑になつていれば他の方法に切り替へようということでも善処された。

騒音以外の公害で、悪臭による公害も困ります。

ゴム製品や廃油、合成樹脂等を多量に燃焼させると、ばい煙や悪臭が発生し、一時的にもその周辺に与える影響は大きいものです。

悪臭に関する苦情では次のような事例がありました。

「使用済みのビニールハウスのビニールを野焼きするので、黒煙とススが発生し悪臭がする。ふとんや洗濯物が干せないから困っている」

ビニールハウスの処理について、市農協の営農指導課に問い合わせて、四月から六月

隣り同士が仲良く暮らすためには、騒音や悪臭の発生源にならないよう気をつけることはもちろん、お互いに住みよい環境づくりに取り組みようとする努力が大切です。



礼と技で人間づくり 少林寺拳法

で教えるより、少林寺拳法の礼と技で人間づくりをしたい」との思いから始めたと話します。稽古で技を磨いた後、全員が座禅を組み精神統一をしてから道院長の法話が始まりました。団体行動の重要性を初め、態度、言葉づかいなど自他共栄の道を説きます。

小学校一年生の男の子の父親は「加入申込書」の加入理由欄に「他人に迷惑をかけず、感謝の心を持ち、素直な子供になるように」と書いており、また、三年生の女子の父親は「引っ込み思案なため、積極性を身につけさせたい。また、礼儀正しい子供になるように」と書いています。「少林寺拳法の会員から、非行少年」が出ないよう、精神教育をしっかり行い、社会に役立つ子供にしたい」と鉄本道院長は意欲を燃やしています。(大内・竹重勇二広報聴モニター記)

イチ、ヤア。ニイ、ヤア。身体の小さい小学生も、大きい大学生も、勇ましいかけ声で「突き」の基本動作を学んでいます。

その昔中国で、武器が持てなかつた僧が護身のためにあみ出した少林拳法。

今年五月、大内公民館の改築の完成に合わせて、六月一日から、少林寺拳法山口大内道院(道院長鉄本一男さん・大内御堀)が発足しました。

会員は、小・中学生三十五人(うち女子が十人)で、高校生以上が二十人。毎週火曜日と木曜日の二回、午後六時三十分から二時間半余り、道院で汗を流します。

稽古に入る前には道院外のごみを拾い、それが終わると道院内のふき掃除をして、準備体操を始めます。

道院に来た時、互いにあいさつを交すことは忘れません。「礼に始まり、礼に終る」武道の精神をここにみる事ができます。

鉄本道院長は「子供たちに、礼儀作法を口



■違反トイレにご注意を

汚水を土中に導入し、浸透または蒸発させる装置の便所は建築基準法に違反しています。取り付けの際は、よくご注意ください。詳しくは、県消費生活センター(電話24-0999)へ

手づくりの夏まつり

大内 問田

大内問田地区では、このほど光厳寺に隣接した地に子供ひろば(約八百平方メートル)を造成し、八月八日、この完成を祝って第一回問田夏まつり(写真)を開催しました。



問田地区の子供ひろばは、市で助成している地域広場(子供の遊び場)設置事業としては、七番目のもので、造成には地区民が協力し合って地ならしなどを行いました。

■県婦人会館教養講座受講生募集

- 毛糸手編教室 10月7日開講、毎週木曜日午前9時～12時または午後1時～4時、受講料 月2,000円、定員15人、(うち5人は午前の部)
- 和服着付教室 10月7日開講、毎月第1・3木曜日午後1時～3時、受講料 月1,500円、定員20人
- 造花教室 10月11日開講、毎月第2・4月曜日午後1時～4時、受講料 月1,500円、定員10人

■山口博物館文化財講座

- 日時 9月18日(土)・19日(日)〈開催時間〉18日は午後1時30分～3時30分。19日は午前10時～午後3時
- 会場 県埋蔵文化財センター(春日町)
- 内容 仏像・考古資料・古建築の見方
- 講師 石原啓司山口博物館副館長(仏像)、村岡和雄同館研究員(考古資料)、梅田正同館学芸課長(古建築)
- 定員・受講料 50人・無料
- 申し込み 9月15日までにハガキか電話で山口博物館文化財講座係(春日町8-2 ☎22-0294)へ

次いで、「大内の殿様」や「交通安全全音頭」の曲による盆踊りやカラオケのどじまん大会などが行われ、参加した約三百人の地区民は手づくりによるふるさと夏まつりに時間を過しました。

まつり当日は、夕方になって一雨降ったものの、午後七時すぎには雨も上がり、会場の中央に設置された盆踊り用の矢倉や、会場周辺のちようちんに火がともされました。

ご存知ですか 県・市町村

中小企業勤労者小口貸付制度
この制度は、中小企業に働く勤労者の福利厚生制度を補完するものとして、県と市町村が共同で実施しています。
○対象者 県内に居住し、中小企業に1年以上勤務している勤労者
○資金の使途 教育資金、療養・傷病資金、災害資金、冠婚葬祭資金、生活向上に役立つ資金
○貸付限度額 60万円(緊急資金20万円)
○貸付利率 年 5.5%
○貸付期間 3年以内
○償還方法 元利均等月賦償還
○保証人 1名以上と(財)県福祉基金協会の債務保証(保証料年 0.5%)
○取扱金融機関 労働金庫、山口銀行、山口相互銀行、各信用金庫
詳しくは、市商工観光課(☎22-4111)へ

■国家公務員郵便外務職員募集

- 試験日 〈1次〉 10月10日
〈2次〉 11月中旬～下旬
- 試験場 山口郵便局
- 受験資格 昭和27年4月2日から40年4月1日までに生まれた人(学歴・男女を問わない)
- 受験申込 9月10日までに山口郵便局(中央一丁目1-1 ☎22-0150)へ

ふるさと山口

母豚で育つイノシシ

仁保 北河内

八月十六日の夕方、山本さんが豚にえさを与え、子豚にまじって乳を吸っている白いすじの入った小さなイノシシがいたからです。翌朝、山本さんがイノシシの様子を見に行ってみると、驚いたことにもう一匹増えて、二匹のイノシシがいました。しかし、二匹目の赤ちゃんは、衰弱がひどく、山本さんの手当のかいもなく、まもなく死んでしまいました。このイノシシの赤ちゃんは、母親を探しに山を下りて来たもので、母親はわなに掛って死んでしまいました。イノシシの赤ちゃんは、オスで、生後十日程になり、体長が三十センチ、体重が、百グラム程度です。「豚とイノシシは、親せきみたいなものですが、豚は自分の子ども以外は、乳を飲ませないんですよ。不思議ですね」と、山本さんは話していました。



仁保上郷北河内地区の農業山本正道さん(64)の豚舎でイノシシの赤ちゃんが、母豚の乳を吸って元気に育っています。

無料レントゲン検診

次のとおり、レントゲン検診車が巡回します。都合のよい場所で受けてください。対象は18歳以上の市民です。ただし、学校、職場などで定期検診を受ける人と妊婦を除きます。

佐 山		所	
月日	時間	場	所
9月 13日 (月)	10:00～10:30	由良	本由良駅前
	10:40～11:10	須川	公会堂前
	11:20～11:50	佐山西	吹上バス停横
	13:30～14:00	佐山東	公会堂前
9月 14日 (火)	10:00～10:30	新地	大黒屋宅前
	10:40～11:10	渚	公会堂前
	11:20～11:50	遠波	公会堂前
	13:30～14:00	場岡	公会堂前
	14:10～14:40		佐山出張所

嘉 川		所	
9月	時間	場	所
16日 (木)	9:40～10:10	高根	公会堂
	10:20～10:50	今津	興進小学校
	11:00～11:30	東今津	益富文治宅前
	13:20～13:50	深江	岡藤新平宅前
	14:00～14:30	寄深	公会堂前
	14:40～15:10	今津	松永丈助宅前
9月 17日 (金)	9:30～9:50	西本郷	西村泰夫宅前
	10:00～10:30	宮の原	林正清宅前
	10:40～11:10	稽古屋	桂魏宅前
	11:20～11:50	赤坂	浄福寺遊園地
	13:20～13:50	原田	福会バス下
	14:10～14:30	中条	公会堂前
9月 20日 (月)	9:20～9:40	千見折	福田耕作宅前
	9:50～10:20	免地	藤津宝宅前
	10:30～11:00	上嘉川	田辺一真宅前
	11:10～11:40	原	バス下前
	13:20～14:00		野村達夫宅前
	14:10～14:40	高見	浅原一夫宅前
14:50～15:10	相原	漁協前	

小郡町で手話講習会(週一回)

手話 講習 会

山口市社会福祉協議会と小郡町社会福祉協議会との共催で、次により手話講習会が開催されます。ふるってご参加ください。

■日時 九月七日(十一月三十日の毎週火曜日)午前九時三十分から二時

■場所 小郡町南集会所(緑町)

■定員 四十人

■受講料 五百円程度(テキスト代)

■申し込み 小郡町社会福祉協議会、(小郡町新丁)☎小郡三〇四五〇へ



▲「七夕ちようちんまつり」2日間で11万人の人出
8月7日・8日の2日間、恒例の山口市ふるさとまつり「山口七夕ちようちんまつり」が開かれました。商店街の“火のトンネル”や時代行列、パークロードや市役所前広場での催し物などは、2日間で11万人の人出があり、にぎわいました。(写真はゆかた姿コンテスト風景)



▲暑さの中で元気なプレー、子ども会球技大会
8月1日、市内7地区で子ども会球技大会が開かれ、男子はソフトボール、女子はフットベースボールをそれぞれ行いました。子どもたちは、30度を越す暑さの中で、町内の声援を受けて、元気一杯のプレーを展開しました。(写真は小鯖地区)

▶二島地区盆踊りに、300人の老若男女
お盆過ぎの八月十七日、二島地区では「総盆踊り大会」が小学校で開かれ、三百人余りの老若男女が集まりました。三グラウンドに矢倉が設けられ、その周りを踊り手たちの輪が二重になって取り囲み、夜遅くまで踊りが続いています。



▶相原海岸クリーン作戦
嘉川漁業協同組合では、八月一日、相原海岸の清掃を行いました。今年は、地区PTAや婦人会の有志も加わり、雑草の刈り取りやゴミの収集に汗を流し、集められたゴミや雑草は、その場で焼かれました。



カマエロボ

▶白中JRC、真夏の清掃奉仕作業
白中中学校のJRC(赤十字活動)は、生徒会を中心とする自主的なメンバーで、毎月一回亀山公園と市役所前のパークロードの地下道を清掃奉仕しています。午前十時から約二時間、真夏の暑い日差しの中で、尊い奉仕の汗を流しました。(写真は八月八日、亀山公園)



同和問題を考える

県の「同和問題に関する意識調査」の結果をみると、同和地区の起源について正しく知っている人はわずか一三・七%です。このことも、同和問題の解決をばばむ原因の一つと考えられます。偏見を打破するために、同和問題の歴史的背景についての正しい認識が必要で、

同和問題の歴史的背景

江戸時代初めごろ、武士は自分たちの政權を安定させるために、人々を士、農、工、商、えた・ひにん(部落の人々)という身分にわけました。そして武士は支配者としての地位を安定させるために、支配される側の人たちが団結して反抗しないように工夫しました。農、工、商および部落の人とわけられたそれぞれの身分の人たちが、お互いに対立するようにしむけたのです。武士の財政のほとんどは、農民から取りたてる年貢米でまかなっていたので、多くの



同和問題を考える

年貢をとられる農民は強い不満をもちました。そこで、その不満をそらすため、農民より低い身分と決められた部落の人の、生活全般にわたって強い規制を加えました。婚姻、交際、服装をはじめ、湿地や日陰や荒地など条件の悪い所に住まわせたり、人のいやがる仕事をおしつけたりして、自分たちよりもきびしい生活のあることを農民に見せて、「上みてくらすな、下みてくらす」と不満をそらすために、部落の人に犠牲を強いました。また、部落の人に、役人の手先として町の治安を維持させる仕事をさせたり、百姓一揆を鎮圧する役をさせたりしました。このため必然的に、部落の人と町人や農民が対立し憎み合うようになっていきました。

このように、「部落」は、武士の意図によって、武士の都合のために、政治的につくられたものです。そして、江戸幕府が続く永いあいだこの政策が続いただけでなく、明治以降も、差別解消のための積極的な対策がなされなかったため、きびしく差別され続けました。このような政策によって、部落の人に対する誤った見方が生まれ、偏見となって差別を残すことになりました。

1歳6カ月児健康診査

- 日時 9月22日(水) 受付時間は午後1時～2時
- 場所 市役所内市民ホール
- 対象児 昭和56年3月1日から3月31日までに生まれた幼児
- 診査内容 医師による内科・検尿・歯科の健康診査、身体測定、保健指導など。料金は無料です。受診者は母子手帳をご持参ください。なお、嘉川、佐山、名田島、秋穂二島、陶、鑄銭司地区の幼児は、10月26日に陶隣保健館で行います。

■市民健康診断(市医師会主催)

- 日時 9月9日(木) 午後1時～3時
- 場所 市医師会健康管理センター(湯田温泉五丁目☎22-6972)
- 内容・料金 一般検診(聴打診、血圧測定、検尿、胸部間接撮影) 1,600円、循環器検診A(一般検診、心電図) 2,300円、循環器検診B(循環器検診A 血清たんぱく、コレステロール) 2,800円

■子宮ガン検診

- 期日 9月20日(月)・21日(火)
- 受付時間 午後1時30分～2時
- 場所 市役所内市民ホール
- 料金・注意事項 1,700円・当日、和服は、ご遠慮ください。
- 申し込み 市衛生課(☎22-4111)へ

■山口文化バスの会

- 「石城山・伊藤博文生家へ」
- 日時 9月26日(日)
(雨天中止)
- 出発地 市民会館小ホール入口、午前8時30分出発
- コース 市民会館→石城山(神籠石・第一奇兵隊史跡)→伊藤博文生家→山口(午後5時に市民会館着)
- 会費 大人 3,000円
子供・身障者 2,000円
- 募集人員 120人(先着順)
- 講師 郷土史家・内田 伸氏
- 申し込み 9月11日までに山口文化バスの会事務局(葵二丁目4-54市交通局内☎22-2555)へ



当日は、弁当と水筒を持参し、山歩きのできる軽装でご参加ください。

【市報8月15日】号の6頁、計画の図中、山口湾側の美濃ヶ浜海岸(図中「美濃ヶ浜海岸」と記したすぐ上の「直立式」)は、「階段式」の誤りです。

【訂正】岩屋・美濃ヶ浜護岸整備実施計画の図中、山口湾側の美濃ヶ浜海岸(図中「美濃ヶ浜海岸」と記したすぐ上の「直立式」)は、「階段式」の誤りです。

【無料法律相談】
日時 九月十三日(月) 午後一時三十分～四時
受付は、午後一時～二時
場所 市中央公民館
対象 山口市民
この法律相談は、市が二カ月に一回開くものです。土地売買や貸借、相続など法律上の問題について、弁護士さんが相談に応じます。資料があれば、ご持参ください。

お知らせ



驚くべきテクニックで詩的な世界を表現するミシェル・ペロフの演奏

研ぎ澄まされた音色や伝統だけに頼らない生き生きとしたリズムの表現で、確固たる人気を得ているフランスの代表的なピアニストであり、現代ピアノ界の最先端にあるミシェル・ペロフが来山します。

音楽愛好者は、多数ご来場ください。

○日時 九月二十一日午後六時

- 入場料 前売券二千円(全席自由席)、当日二千五百円
- 場所 市民会館大ホール
- 主催 市教育委員会、やまぐち市民文化の会
- プログラム 「子供の情景」(シューマン)、「交響的練習曲」(シューマン)、「展覧会の絵」(ムソルグスキー)

ミシェル・ペロフ
ピアノ・リサイタル
9月21日 市民会館で

例年九月の新学期になると、「遊びぐせがついて」学校がきらいになって「家庭がおもしろくなくて」など、夏休みの解放感や惰性による少年の外出が多くなります。

少年の外出をなくすために、次のことを心がけましょう。

- 子供の小さな悩みを真剣に聞いてやり、親子の対話を深める。
- 友だちや持ち物などにも気を付ける。
- 子供の能力に期待をかけすぎないようにする。
- また、家出や非行などの深みに、はまらないうちに早く警察に相談しましょう。
- 「さがすより 家出させない 親の愛」

9月1日～30日 家出少年発見保護月間

入場券は、グラウンドミックス三好屋、三好屋レコード、十字堂楽器店、OK無線音響センター、市民会館で発売しています。

なお、問い合わせ、予約は、市民会館(☎三三一一〇〇〇)へ

- 山口大学公開体育講座
○期間 9月29日(水)～10月5日(火) 午前10時30分から約2時間
- 対象 一般市民(女性)
- 募集人員 50人(先着順)
- 内容 講義とリズム体操
- 会場 山口大学第2体育館
- 受講料 1,500円(別に傷害保険料 240円がはいります。)
- 申し込み 9月20日までにハガキまたは電話で山口大学教育学部庶務係(大字吉田☎22-6111)へ
- 山口おやこ劇場9月例会
○日時 9月10日午後6時30分～
- 場所 市民会館
- 上演 関西芸術座舞台劇『おかあさんだいっけらい』
- 当日会費 2,000円(9～11月分と入会金)
- 県立図書館 9月月間展示 「ふるさとの民俗芸能」
○期間 9月1日～29日(月曜日は休館)
- 場所 県立山口図書館2階
- 内容 神舞神事や鷲舞、人形浄瑠璃など県内の民俗芸能に関する資料約40点を展示します。

【目で見る県政教室】
日時 九月十七日(金) 午前八時に県庁前庭に集合(小郡駅在来線は午前八時三十分)

- 案内施設 「育成牧場秋吉台団地」秋芳町ナシ選果場「畜産試験場」
- 参加資格 二十歳以上の県民
- 参加料 五百円(昼食代)
- 申し込み 九月七日までにハガキに住所、氏名、年齢、職業を記入のうえ、県広報課滝町一一一へ

火災情報

種別	建物	林野	車両	その他	計
7月中の発生件数の計	1		1		2
今年発生	21	8	1	4	34
7月中の発生原因	たばこの不始末				

9月の休日当番医	外科 医		内科 医		外科 医		内科 系			
	病院名	電話	病院名	電話	病院名	電話	病院名	電話	病院名	電話
5	田村外科	山口☎7527	ササキ医院	山口☎3237	林病院	小郡☎0411	岡病院	小郡☎2388	小野医院	秋穂 2353
12	淵上整形外科	山口☎6644	清水医院	山口☎0732	共立病院	阿知須2200	池田医院	小郡☎1002	新井医院	阿知須2048
15	佐々木外科病院	山口☎2537	清水内科	山口☎2288	嘉村外科	小郡☎2513	浜本小児科	小郡☎0616	三河内医院	秋穂 2711
19	外河脳外科	山口☎1333	田原小児科	山口☎3207	相川医院	四辻 2177	林病院	小郡☎0411	佐藤医院	阿知須2126
23	林外科	山口☎0139	田村内科	山口☎6533	村田外科	小郡☎7100	上郷医院	小郡☎0916	共立病院	阿知須2200
26	柴田病院	山口☎2800	城島小児科	山口☎3235	第一病院	小郡☎0333	第一病院	小郡☎0333	徳田医院	嘉川 2512

■休日当番医診療時間 8時30分～17時30分
 ■日曜・祝日の夜間は、休日夜間急病診療所(熊野町 県薬剤師会館内 電話☎2266)へ、19時～23時
 ■日曜・祝日の歯科は、県口腔センター(吉敷下東、県歯科医師会館内 電話☎1820)へ、9時～15時